

狼が幕張メッセを疾走！  
瀧下和之さんが「オートサロン2010」を彩る



「トミーカイラR」の頭上を飾った狼図



作者の瀧下和之さんもコラボレーションを楽しんでいた

同イベントは1月15日から3日間の開催で23万8千人を動員。アピール性は抜群だ。これを機に美術ファンが増えてくれたらなあ、という淡い期待も抱きつつ会場を後にした。なお、作者である瀧下さんは「車は見ていてカッコイイと思いますけど、免許を持ってないんです……」とバツの悪そうな表情。さらに、もし乗るなら？ との質問に「やはり100号サイズの大作が積める車ですね」との答え。どこまでも美術家な瀧下さんなのでした。

幕張メッセで開催されたチューンナップカーの見本市「オートサロン2010」の会場で〈狼〉を発見！ というのは、本物ではなく絵画作品をパネルにした狼の話。作者は「桃太郎図」でも知られる瀧下和之さん。豊田市で経営をするコンプリートカーメーカー「トミーカイラジャパン」の経営者が瀧下さんのファンで、同社のマークである狼をモチーフにコラボレーション。今回の目玉「トミーカイラR」の頭上に張られた2メートル大の狼図が、高級感漂う車のボディに映りこんで、優雅でもあり猛々しくもあり、多くの観客の足を止めていた。